



第26話 候補者ごっこ

今回の選挙中、タスキを自宅に持って帰った夜のこと。長女(魚が好きな13歳)がふざけてタスキをかけて、「県議会議員候補、大塚愛でゴザイマス。私が当選した暁には、川の魚を守って、週2回川のゴミ拾いの日を作ります!」と演説。すると、横から長男(17歳)が「え〜、それは義務ですか!?!」と問いかける。すると今度は次女(平和を愛する8歳)がタスキをかけて、「え〜と、私がギインになったアカツキに

は、えっと…世界を平和にします!」と演説ごっこ。

我が家にとって3回目の選挙となりますが、子ども達は意外とよく見てるんだなあと感心しました。



選挙の9日間、毎日娘が手紙で励ましてくれました。



おおつかあいプロフィール
1974年1月10日生まれ。旭操小学校、操南中学校、岡山朝日高校、岡山大学教育学部卒業。99年より福島県で農業研修。4年間の大工修業の後、自宅を建て、大工として働く。2011年3月福島原発事故により一家で岡山に避難。5月「子ども未来・愛ネットワーク」を立ち上げ、避難移住者のサポートや福島の子どもの保養受け入れなどを行う。北区建部町に夫、3人の子どもと暮らす。2016年から県議会議員。

大塚愛 いっぽ通信

岡山県議会議員
大塚愛 県政レポート [第26号]
発行: 2023年5月(2023年2月議会報告)

最新情報を発信しています
Facebook: みどり岡山
www.facebook.com/greenokayama
大塚愛
www.facebook.com/ohtsuka.ai.3
みどり岡山ホームページ:
https://midori-okayama.org/

【事務所】
〒700-0971
岡山市北区野田5-8-11
Tel: 086-244-7721
Fax: 086-244-7724
e-mail: info@midori-okayama.org
http://midori-okayama.org/
【自宅】
〒709-3122
岡山市北区建部町吉田321
携帯: 070-5056-3808
e-mail: ai.raku@shokan.jp



みなさま、こんにちは。
4月の県議選では、14,619票という本当に多くの応援を寄せていただき、再選いたしました。託された思いや希望を大切に、これからもしっかりと頑張っていきたいと思えます。

今回嬉しかったことの1つは、女性議員が4人も増えて、12人になったことです。県議



開票結果を聞いた喜びの瞬間、次女から花束を受け取りました。

会55人中12人ということで、女性比率が22%で全国2位となりました。選挙中も「女性が頑張らんといいけん」と言われることが、前回にも増して多く、女性の政治参画がますます求められていることを肌で感じます。子育てや若者のこと、福祉や環境のことなど、女性らしさと地道な熱意で取り組んでいきたいと思えます。

また、コロナ禍やウクライナ侵攻、気候変動などに、暮らしが大きな影響を受ける昨今、一次産業の農林業やエネルギーの自給率をあげていくことがより重要になっていると思えます。選挙中も、「中山間地域や農業の課題を頼むよ」という思いを沢山

大塚愛

県政レポート(2023年5月発行) [第26号]



いっぽ通信

P.02-03 誰ひとり取り残さない教育

P.01 3期目を迎え、これからも一歩いっぽ頑張ります!

P.02-03 おもな活動記録から「空き家活用・水と空気からつくる燃料」

P.04 愛ちゃんがゆく! — 県議体験記 — / 日々のうごき (2023年1月~5月)



毎日できな仲間の皆さんがウグイスや運動の応援をして下さいました。選挙は大変ですが、心ある応援のおかげで頑張れます。

託されました。今年度は農林水産委員会に所属することになりましたので、いろんな現場に足を運びながら、動いていきたいと思えます。

また、私は「民主・県民クラブ」という会派に所属しているのですが、今期はその中で政調会長という役を務めることになりました。議案審議や代表質問のとりまとめ、勉強会の企画などを担うわけですが、新人3人を迎えた10人の議員で、さまざまな課題や意見を持ち寄り、対話を深め、議会で積極的に活動していきたいようリードしていければと思います。

4年に1度の選挙が終わったのも束の間、早速忙しい日々を送っていますが、これからもどうぞよろしく願います。

<p>日々のうごき 2023年1月~5月</p> <p>1.20 岡山市と隣がい支援の懇談 @たんぼネットワーク</p> <p>1.21 ユニオンおかやま新春の集い</p> <p>1.23 岡山武道館竣工式、みどり岡山会議</p> <p>1.24 3.11への折り実行委員会</p> <p>1.25 常任委員会(環境文化保健福祉)、会派会議</p> <p>1.27 「気候危機自治体議員の会」代表者会議</p> <p>1.28 気候変動について講演@街角オアシス</p> <p>1.29 鹿瀬地区総会、チャリティーコンサート@西川アイプラザ、守田敏也氏講演会@らうさんビル</p> <p>1.31 みつカフェ@岡山御津高校、たんぼの会作品展、さよなら原発1000万人アクション会議</p> <p>2.1 守田敏也さんと原発についての対談収録</p> <p>2.2 常任委員会、休眠基金事業のヒアリングonline</p> <p>2.3 防災講演会で登壇@青森明けの星中学高校online、</p> <p>2.4 観音寺用水ホタルトーク@京山公民館</p> <p>2.6 有機農業の話し合い@岡山オーガニック</p> <p>2.7 予算総括協議会</p> <p>2.8 会派知事折衝、ゆりかご保育園訪問</p> <p>2.9 メッセージ動画収録</p> <p>2.10 たけべ家おこしプロジェクト@建部町公民館</p> <p>2.11 光珍寺法要</p>	<p>2.12 みどり岡山新春フェス</p> <p>2.14 キウイ剪定@竹枝小学校、みつカフェ、たねをまもる会おかやま定例会online</p> <p>2.15 常任委員会</p> <p>2.16 強度行動障害についての懇談@県庁</p> <p>2.18 キーワード作成ワークショップ@加茂川ホリデイフォレスト、ディスレクシアの懇談会</p> <p>2.19 岡山市中央卸売市場記念式典</p> <p>2.20 2月議会開会</p> <p>2.21 災害についての講演@のびのび小学校</p> <p>2.22 代表質問(高原議員)</p> <p>2.23 七草粥つくり@竹枝小学校、木村式自然栽培成果報告会@倉敷</p> <p>2.24 よる会@おかやまNPOセンターonline</p> <p>2.25 手話クラブ@建部町公民館、「みどりと水の道」管理運営部会@絵図町</p> <p>2.26 県政おはなし会@吉備中央町下竹荘公民館</p> <p>2.27 ベンキ塗り@建部事務所</p> <p>2.28 一般質問(3/3~7~9)、有機農業ミーティング@吉備中央町</p> <p>3.1 卒業式@岡山御津高校</p> <p>3.2 卒業式@岡山朝日高校</p>	<p>3.3 マンスリーライブで出演@禁酒会館</p> <p>3.4 鬼木のぞみ事務所開き、女たちのおしゃべり会@コットン古都夢</p> <p>3.8 一般質問登壇</p> <p>3.11 「3.11から未来へ」上映会&トーク@藤涼寺</p> <p>3.14 福島原発おかやま訴訟判決・報告会</p> <p>3.15 常任委員会</p> <p>3.17 2月議会閉会、みつカフェ振り返り会、吉沢正日氏講演会@ICOI</p> <p>3.18 ハレマニオープンデー@吉備中央町</p> <p>3.19 建部事務所開き@福渡</p> <p>3.27 意見交換会@NPO未来へonline</p> <p>3.31~4.9 岡山県議会議員選挙</p> <p>4.9 はっぱねまつり@たけべの森</p> <p>4.11 フラワーデモ@エキチカ広場</p> <p>4.13 当選証書授与式</p> <p>4.16 吉田区総会、鹿瀬保全会総会、尾道市議会議員選挙応援</p> <p>4.17 建部町酪農組合総会</p> <p>4.18 たねをまもる会おかやま総会@高松公民館</p> <p>4.19 みつカフェ新年度ミーティング</p> <p>4.20 高松市議会議員選挙応援</p> <p>4.21 サステイナブルエネルギー開発見学会@倉敷</p> <p>4.22 加茂川ホリデイフォレスト、手話クラブ、パブリック友の会&の集い</p> <p>4.26 たけべ家おこしプロジェクト会議</p> <p>4.27 会派会議</p> <p>4.28 岡山市保健所衛生課、3.11ツナグ定例会online</p> <p>4.30 ピアノ発表会@建部町文化センター</p> <p>5.1 松上利男氏の懇談会、生理の貧困@おかやまNPOセンター</p> <p>5.4 星島会邦楽舞踊発表会@後楽園、ガーデンマルシェ@下加茂</p>
--	---	---

2月議会で取り上げたことから 有機農業・特別支援教育について



「いっば通信Plus!」
動画はこちら

有機農業や堆肥について

有機農業や自然栽培は、化学肥料や農薬を使わず、堆肥や微生物の力を活かして作物を育てる栽培方法で、温室効果ガス削減に貢献することから、国は「みどりの食料システム戦略」として推進しています。また近年は、オーガニック給食を求める運動も全国的な高まりを見せ、取り組む自治体が増えているところ。また昨年から急激な肥料高騰を受けて、堆肥の活用や減農薬に関心をもつ農家の方は増えつつあると感じますが、「堆肥を使いたいけれど臭いが気になる」、「品質によって野菜への影響が心配」

農場名	〇〇牧場
住所	岡山市△△
畜種	牛
価格	5,000円/2トン車
処理方法	堆積発酵
...	...
セールスポイント	土づくりに最適

クリックすると詳しく見れます
「岡山県堆肥マップ」で検索



という声も聞かれます。品質向上や情報提供はどう取り組んでいますか。

万代農林水産部長 県では手引きを作成して、臭いや手触り、堆積期間の指標を示し、指導に活かしている。今後、耕畜連携を進める中で、農家(耕種)の意見を畜産農家に伝えて堆肥の品質向上を促し、堆肥の処理方法を具体的に掲載するなど、県の畜産堆肥マップを充実し、わかりやすい情報提供をしていきたい。

大塚 県内の堆肥の供給状況は。

農林水産部長 家畜排せつ物から生産されている堆肥は、年間約9000トンと推計さ

れ、有機農業や飼料作物にすべて使用されている。樹皮などの植物由来では約9000トンを生産。県内の下水道処理施設からの汚泥は、約3割が堆肥として再資源化されている。

大塚 県の計画のように有機農業を増やしていくと、堆肥が足りなくなるのでは。

農林水産部長 畜産農家が牧草地に自家消費しているものも多いので、堆肥としての生産を促すことで、今後の需要増に対応できるものと考えている。

大塚 動物性堆肥や肥料自体を使わず、土壌の微生物の力を活かして栽培する自然栽培と呼ばれる農法もあります。先日参加した報告会では、肥料も農薬も使わず1反あたり8.5俵のお米を収穫された方の発表をお聞きました。県内で少なくとも100軒以上の農家が自然栽培に取り組んでおられますが、県はほとんど実態を把握していないのが実情です。県としてもっと歩み寄り、情報収集や土壌の研究をしてはどうですか。

農林水産部長 今後開催する意見交換会などに、自然栽培の実践者にも参加を呼びかけ、情報収集していきたい。自然栽培という方法があり、多くの方が実践されていることは素晴らしいことだと感じている。

特別支援教育について

文科省の調査では、小・中学校で学習や行動で著しい困難を示す子どもは8.8%いることが分かり、岡山県内では約1万3000人の子が同じような困難を示していると推測されます。このような子どもの中には、学校でその困難さが受け止めてもらえず、その結果不登校になった方も少なくなく、そのような方からお話を聞く度に胸が痛みます。私はこれまで何度も質問してきましたが、まだ支援の仕組みはまだ十分ではなく、増え続ける不登校の問題解決のためにも欠かせない要素ですが、どう取り組みますか。

鍵本教育長 不登校支援として、特別支援学校のセンター的機能を活用して、本人の特性に関する見立てや支援方法の助言を得て、効果的な支援に繋がったケースもある

と認識している。今後も、特別支援コーディネーターとの連携や、センター的機能の活用が進むよう、学校を指導していきたい。

大塚 読み書きが難しい子どもが、音声教材やアプリの使用、タブレット撮影による板書などを希望する場合、どんな基準で許可し、他の子どもにどんな説明をするのが望ましいと考えますか。

教育長 子どもが授業内容を理解し、学習活動に参加している実感、達成感をもちながら、充実した時間を過ごせるかどうかという視点から、その使用を判断することが大切だと考えている。

ICT機器は、すべての子どもの個別最適な学びに有効なツールであるため、苦手なことを補うために使えることを丁寧に説明することが望ましく、そのことが多様性を認め合う学級づくりにもつながると考えている。

大塚 学習や行動に困難を示す子どもの個別支援は、担任だけでなく校内で共有する



ことが重要ですが。

教育長 特別な支援が必要な子どもの実態把握や合理的配慮については、担任だけではなく、校内委員会で共有し、判断するよう管理職研修などで指導している。

大塚 校内委員会で解決しない場合には、センター的機能や専門家チームを活用した相談が望まれますが、その実績は。

教育長 特別支援学校のセンター的機能の相談実績は、昨年12月時点で258件、専門家チームの派遣は4件となっています。このうち、読み書きの困難についての相談は29件、専門家派遣は3件で、作業療法士と自閉症スペクトラム支援士が対応している。

学習障害(LD)の3つの症状



「読む」が苦手



「書く」が苦手



「計算」が苦手



この他、ケアラー支援、ウィズセンターについて質問しました。岡山県議会のHPから録画をご覧ください

たけべ家おこしプロジェクト

@御津・建部 (2月10日/4月26日)

高齢化が進み、地域に空き家が少しずつ増えている中、それを見て見ぬふりはできない、空き家となるお家を活かして地域を元気にしたい!という有志で、空き家の調査や紹介などの活動をしています。昨年は建部支所に空き家バンクの取次窓口を設けていただいたり、岡山市の移住相

談との連携も進みました。お家を誰かに使ってほしいという方と、自然豊かな建部や御津で暮らしたいという方を繋いでいけるよう、SNSの発信を始めた。空き家活用のわかりやすいリーフレットも作ろうと話してあります。

たけべ家おこしプロジェクト



Facebook



Instagram

おもな「活動記録」から



理事会の若手チームでリーフレット作り。空き家の情報やご相談も受け付けています。

人工石油製造の見学会

@倉敷 (4月21日)

東 日本大震災の経験から「いつ、どんな時でも使える燃料を作りたい」と考えていた光山社長(サステナブルエネルギー開発・仙台市)と、水と二酸化炭素から燃料を作る技術を開発した今中教授(京都大学名誉教授)が協力されて、第一号となる人工石油製造装置が倉敷の工場

で完成し、見学会に参加しました。光触媒で加工した水に軽油を混ぜると、水と二酸化炭素が反応して軽油に変わるという仕組みで、製造に使う電気は少量なので、環境的にも経済的にも大変良いようです。今後このような技術を安定的に使っていきけるよう注目していきたいです。



今中教授(左)らが長年研究されてきた燃料です。